平成２６年度

群馬県学校農業クラブ連盟
技術競技大会

種目：農業情報処理

【表計算処理・グラフ作成・考察文書処理問題】

<<注意事項>>

１　コンピュータ・ＵＳＢは指定されたものを使います。

２　机上に出してよいものは、筆記用具のみです。

３　問題用紙は、指示があるまで開いてはいけません。

４　処理時間は６０分です。
　　終了時に上書き保存してください。

５　各処理は、【印刷形式１～３】に従って行います。

６　印刷は終了後行いますが、プリントアウトに関係する
　設定は時間内に行ってください。

<以下、開始直前に審査長の指示で一緒に作業します>

５　ＵＳＢ内にあるEXCELとWordファイル名の末尾〇〇の
　部分を競技者番号に変更してください。

６　競技者番号の〇〇を各自の番号に、「氏名を入力」を
　自分の氏名にそれぞれ打ちかえてください。

７　上記５～６を確認のため、プリントアウトを行います。

平成２６年度　群馬県学校農業クラブ連盟　農業情報処理競技会
【表計算処理問題】

「h2s|t11j」「h2s|t31j」「h2s|t41j」の３つのファイルは、経済産業省「商業動態統計調査」の Web ページ「統計表一覧」→「時系列データ」からダウンロードしたものです。
表計算ソフトを利用して、３つのファイルから必要なデータをコピーして値を貼り付け、以下の指示に従い、表１～表１１を完成させなさい。

【指示】
１　全体について
（１）１行目に競技者番号・学校名・氏名を入力し、４行目から作成しなさい。
（２）印刷は、印刷形式１にしたがい、表１～表１１までをＡ４版横１枚に行いなさい。
（３）各表の表題・文字位置・罫線は印刷形式１のようにしなさい。ただし、印刷形式１に印字されているデータは、仮のデータであり、正しくありません。この数字を入力しないでください。
（４）列幅・行幅は、セル内の各データが正しく表示できる幅としなさい。

２　各表について
【表１】
（１）農畜産物・水産物卸売業（１０億円）と食料・飲料卸売業（１０億円）のデータは、「h2s|t11j」のファイルから、必要なデータをコピーして値を貼り付けなさい。販売額（value）（年 CY）のデータを使いなさい。販売額（value）（年度 FY）のデータは使いません。
（２）農畜産物・水産物卸売業（１０億円）と食料・飲料卸売業（１０億円）の数値表示は、３桁ごとにカンマをつけなさい。
（３）農畜産物・水産物卸売業（兆円）は、次の式で求めなさい。ただし、小数点第１位未満を四捨五入し、小数第１位まで表示しなさい。
「農畜産物・水産物卸売業（１０億円）　÷　1000」
（４）食料・飲料卸売業（兆円）は、次の式で求めなさい。ただし、小数点第１位未満を四捨五入し、小数第１位まで表示しなさい。
「食料・飲料卸売業（１０億円）　÷　1000」
【表２】
（１）飲食料品小売業（１０億円）のデータは、「h2s|t11j」のファイルから、必要なデータをコピーして値を貼り付けなさい。販売額（value）（年 CY）のデータを使いなさい。販売額（value）（年度 FY）のデータは使いません。
（２）飲食料品小売業（１０億円）の数値表示は、３桁ごとにカンマをつけなさい。
（３）飲食料品小売業（兆円）は、次の式で求めなさい。ただし、小数点第１位未満を四捨五入し、小数第１位まで表示しなさい。
「飲食料品小売業（１０億円）　÷　1000」
【表３】
（１）スーパーマーケット（１００万円）のデータは、「h2s|t31j」のファイルから、必要なデータをコピーして値を貼り付けなさい。ここで使うのは飲食料品の販売額のデータです。販売額（value）（年 CY）のデータを使いなさい。販売額（value）（年度 FY）のデータは使いません。
（２）スーパーマーケット（１００万円）の数値表示は、３桁ごとにカンマをつけなさい。
（３）スーパーマーケット（兆円）は、次の式で求めなさい。ただし、小数点第１位未満を四捨五入し、小数第１位まで表示しなさい。
「スーパーマーケット（１００万円）　÷　100000」

【表４】
（１）ＦＦ・日配食品（１００万円）と加工食品（１００万円）のデータは、「h2s|t41j」のファイルから、必要なデータをコピーして値を貼り付けなさい。ここで使うのはＦＦ・日配食品と加工食品の販売額のデータです。販売額（value）（年 CY）のデータを使いなさい。販売額（value）（年度 FY）のデータは使いません。また、経済局別データも使いません。
（２）ＦＦ・日配食品（１００万円）と加工食品（１００万円）の数値表示は、３桁ごとにカンマをつけなさい。
（３）販売額合計（１００万円）は、次の式で求めなさい。数値表示は、３桁ごとにカンマをつけなさい。

「ＦＦ・日配食品（１００万円）　＋　加工食品（１００万円）」

（４）販売額合計（兆円）は、次の式で求めなさい。ただし、小数点第１位未満を四捨五入し、小数第１位まで表示しなさい。

「販売額合計（１００万円）　÷　100000」

【表５】
（１）百貨店（１００万円）のデータは、「h2s|t31j」のファイルから、必要なデータをコピーして値を貼り付けなさい。ここで使うのは飲食料品の販売額のデータです。販売額（value）（年 CY）のデータを使いなさい。販売額（value）（年度 FY）のデータは使いません。
（２）百貨店（１００万円）の数値表示は、３桁ごとにカンマをつけなさい。
（３）百貨店（兆円）は、次の式で求めなさい。ただし、小数点第１位未満を四捨五入し、小数第１位まで表示しなさい。

「百貨店（１００万円）　÷　100000」

【表６】
（１）ピーク年（平成※年）は、表１において農畜産物・水産物卸売業の販売額の最も多い年を「平成※年（※のところに数字が入る）」の形式で入力しなさい。
（２）ピーク額（兆円）は、表１においてピーク年における農畜産物・水産物卸売業（兆円）の値を入力しなさい。農畜産物・水産物卸売業（１０億円）の値ではありません。小数第１位まで表示しなさい。
（３）平成２３年額（兆円）は、表１において平成２３年における農畜産物・水産物卸売業（兆円）の値を入力しなさい。農畜産物・水産物卸売業（１０億円）の値ではありません。小数第１位まで表示しなさい。
（４）ピーク時に比べた平成２３年減少額（兆円）は、次の式で求めなさい。小数第１位まで表示しなさい。減少額なのでー（マイナス）表示にします。

「平成２３年額（兆円）　－　ピーク額（兆円）」

（５）ピーク時に比べた平成２３年減少率（％）は、次の式で求めなさい。％で小数第１位まで表示しなさい。減少率なのでー（マイナス）表示にします。

「ピーク時に比べた平成２３年減少額（兆円）　÷　ピーク額（兆円）」

【表７】
（１）ピーク年（平成※年）は、表１において食料・飲料卸売業の販売額の最も多い年を「平成※年（※のところに数字が入る）」の形式で入力しなさい。
（２）ピーク額（兆円）は、表１においてピーク年における食料・飲料卸売業（兆円）の値を入力ななさい。食料・飲料卸売業（１０億円）の値ではありません。小数第１位まで表示しなさい。
（３）平成２３年額（兆円）は、表１において平成２３年における食料・飲料卸売業（兆円）の値を入力しなさい。食料・飲料卸売業（１０億円）の値ではありません。小数第１位まで表示しなさい。
（４）平成２２年額（兆円）は、表１において平成２２年における食料・飲料卸売業（兆円）の値を入力しなさい。食料・飲料卸売業（１０億円）の値ではありません。小数第１位まで表示しなさい。
（５）前年に比べた平成２３年増減額（兆円）は、次の式で求めなさい。小数第１位まで表示しなさい。減少額になる場合には、－（マイナス）表示にしなさい。

「平成２３年額（兆円）　－　平成２２年額（兆円）」

（６）前年に比べた平成２３年増減率（％）は、次の式で求めなさい。％で小数第１位まで表示しなさい。減少率になる場合には、－（マイナス）表示にしなさい。

「前年に比べた平成２３年度増減額（兆円）　÷　平成２２年額（兆円）」

【表８】
（１）平成２３年額（兆円）は、表２において平成２３年における飲食料品小売業全体（兆円）の値を入力しなさい。飲食料品小売業全体（１０億円）の値ではありません。小数第１位まで表示しなさい。
（２）平成２２年額（兆円）は、表２において平成２２年における飲食料品小売業全体（兆円）の値を入力しなさい。飲食料品小売業全体（１０億円）の値ではありません。小数第１位まで表示しなさい。
（３）前年に比べた平成２３年増減額（兆円）は、次の式で求めなさい。小数第１位まで表示しなさい。減少額になる場合には、－（マイナス）表示にしなさい。

「平成２３年額（兆円）　－　平成２２年額（兆円）」

（４）前年に比べた平成２３年増減率（％）は、次の式で求めなさい。％で小数第１位まで表示しなさい。減少率になる場合には、－（マイナス）表示にしなさい。

「前年に比べた平成２３年度増減額（兆円）　÷　平成２２年額（兆円）」

【表９】
（１）平成２３年額（兆円）は、表３において平成２３年におけるスーパーマーケット（兆円）の値を入力しなさい。スーパーマーケット（百万円）の値ではありません。小数第１位まで表示しなさい。
（２）平成２２年額（兆円）は、表３において平成２２年におけるスーパーマーケット（兆円）の値を入力しなさい。スーパーマーケット（百万円）の値ではありません。小数第１位まで表示しなさい。
（３）前年に比べた平成２３年増減額（兆円）は、次の式で求めなさい。小数第１位まで表示しなさい。減少額になる場合には、－（マイナス）表示にしなさい。

「平成２３年額（兆円）　－　平成２２年額（兆円）」

（４）前年に比べた平成２３年増減率（％）は、次の式で求めなさい。％で小数第１位まで表示しなさい。減少率になる場合には、－（マイナス）表示にしなさい。

「前年に比べた平成２３年度増減額（兆円）　÷　平成２２年額（兆円）」

【表１０】
（１）平成２３年額（兆円）は、表４において平成２３年における販売額合計（兆円）の値を入力しなさい。販売額合計（百万円）の値ではありません。小数第１位まで表示しなさい。
（２）平成２２年額（兆円）は、表３において平成２２年における販売額合計（兆円）の値を入力しなさい。販売額合計（百万円）の値ではありません。小数第１位まで表示しなさい。
（３）前年に比べた平成２３年増減額（兆円）は、次の式で求めなさい。小数第１位まで表示しなさい。減少額になる場合には、－（マイナス）表示にしなさい。

「平成２３年額（兆円）　－　平成２２年額（兆円）」

（４）前年に比べた平成２３年増減率（％）は、次の式で求めなさい。％で小数第１位まで表示しなさい。減少率になる場合には、－（マイナス）表示にしなさい。

「前年に比べた平成２３年度増減額（兆円）　÷　平成２２年額（兆円）」

【表１１】
（１）平成２３年額（兆円）は、表５において平成２３年における百貨店（兆円）の値を入力しなさい。百貨店（百万円）の値ではありません。小数第１位まで表示しなさい。
（２）平成２２年額（兆円）は、表３において平成２２年における百貨店（兆円）の値を入力しなさい。百貨店（百万円）の値ではありません。小数第１位まで表示しなさい。
（３）前年に比べた平成２３年増減額（兆円）は、次の式で求めなさい。小数第１位まで表示しなさい。減少額になる場合には、－（マイナス）表示にしなさい。

「平成２３年額（兆円）　－　平成２２年額（兆円）」

（４）前年に比べた平成２３年増減率（％）は、次の式で求めなさい。％で小数第１位まで表示しなさい。減少率になる場合には、－（マイナス）表示にしなさい。

「前年に比べた平成２３年度増減額（兆円）　÷　平成２２年額（兆円）」

平成２６年度　群馬県学校農業クラブ連盟　農業情報処理競技会
【グラフ作成問題】

表計算処理問題で作成した表をもとに、以下の指示に従いグラフを作成しなさい。
印刷は、Ａ４版縦１枚に行いなさい。グラフのサイズ等は問いません。

【指示】
1　全体について
（１）競技者番号・学校名・氏名を入力しなさい。
（２）フォントの種類とサイズは、表計算ソフトが自動的に選択したもので特に問いません。
（３）印刷形式２のように作成しなさい。ただし、印刷形式２のグラフは、正しくない仮のデータをもとに作成されたものです。

２　各グラフについて
【図１】
（１）表 1 の昭和６０年～平成２３年（ＣＹ）の農畜産物・水産物卸売業（兆円）、食料・飲料卸売業（兆円）をもとにして、折れ線グラフを作成しなさい。
（２）（目盛線）→（主横軸目盛線）を［なし］にしなさい。
（３）（軸ラベル）→（主縦軸ラベル）→（軸ラベルを垂直に配置）とし、「兆円」と入力しなさい。
（４）（データラベル）→（上）としなさい。
（５）（凡例）→（凡例を下に配置）としなさい。
（６）（グラフタイトル）→（グラフの上）とし、「図１　食品卸売業の商品販売額の推移」と入力しなさい。
【図２】
（１）表２、表３、表４、表５の平成１０年～平成２３年（ＣＹ）の飲食料品小売業全体（兆円）、スーパーマーケット（兆円）、販売額合計（兆円）、百貨店（兆円）のデータをもとにして、マーカー付きの折れ線グラフと棒グラフとの２軸グラフを作成しなさい。
（２）飲食料品小売業全体を棒グラフとし、第２軸を使用しなさい。
（３）（目盛線）→（主横軸目盛線）を［なし］にしなさい。
（４）（軸ラベル）→（主縦軸ラベル）→（軸ラベルを垂直に配置）とし、「兆円」と入力しなさい。
（５）数値軸目盛は、最小値（０．０）、最大値（１５．０）、間隔（５．０）としなさい。
（６）（軸ラベル）→（第２縦軸ラベル）→（軸ラベルを垂直に配置）とし、「兆円」と入力しなさい。
（７）第２数値軸目盛は、最小値（２５．０）、最大値（４５．０）、間隔（５．０）としなさい。
（８）（軸ラベル）→（第２縦軸ラベル）→（軸ラベルを垂直に配置）とし、「兆円」と入力しなさい。
（９）棒グラフについては、（データラベル）→（外側）としなさい。マーカー付きの折れ線グラフについては、（データラベル）→（上）としなさい。
(10)（凡例）→（凡例を下に配置）としなさい。
(11) 凡例のうち、飲食料品小売業全体のデータのところは、飲食料品小売業全体（右目盛）というように（右目盛）を付け加えなさい。販売額合計のデータのところは、コンビニエンスストアとしなさい。
(12)（グラフタイトル）→（グラフの上）とし、「図２　業態別の食料品販売額の推移」と入力しなさい。

平成２６年度　群馬県学校農業クラブ連盟　農業情報処理競技会
【考察文書処理問題】

次の考察文書を指示に従い、入力しなさい。
印刷は、Ａ４版縦１枚に行いなさい。

【指示】
（１）１行の文字数は、全角３５文字横書きに設定しなさい。
（２）文字は明朝体とし、文書タイトル以外は、１０．５ｐｔにしなさい。
（３）１行目に競技者番号・学校名・氏名を入力し、文書タイトルは３行目に、本文は５行目から入力しなさい。
（４）文書のタイトル「食品流通業は業種によって商品販売動向に違い」は、１２ｐｔにしてアンダーラインをつけてセンタリングをしなさい。
（５）※には、数字を入力し、小数点も含め数字の箇所にアンダーラインをつけなさい。
（６）☆☆には、増加または減少と入力し、アンダーラインをつけなさい。

競技者番号　○○番　○○高等学校　氏名○○

食品流通業は業種によって商品販売動向に違い

食品流通業のうち食品卸売業の商品販売額をみると、農畜産物・水産物卸売業は、平成※年の※※．※兆円をピークとして、販売数量の減少や単価の下落等により、減少傾向で推移しており、平成２３年の商品販売額は、ピーク時に比べて※※．※％低下し※※．※兆円となっています。一方、食料・飲料卸売業については、平成※年の※※．※兆円をピークに、その後多少の増減があるものの、ほぼ横ばいで推移しており、平成２３年の商品販売額は、東日本大震災の影響による備蓄需要の増加、内食の増加等により前年に比べて※．※兆円（※．※％）☆☆し※※．※兆円となっています。
飲食料品小売業全体の商品販売額をみると、平成２３年は東日本大震災の影響による備蓄需要の増加、内食の増加等により、前年に比べて※．※兆円（※．※％）☆☆し※※．※兆円となっています。
次に業態別に食料品販売額の推移をみると、スーパーマーケットにおける平成２３年の食料品販売額は、※．※兆円となっており、前年に比べて※．※兆円（※．※％）☆☆しています。コンビニエンスストアにおける平成２３年の食料品販売額は、※．※兆円となっており、前年に比べて※．※兆円（※．※％）☆☆しています。百貨店における平成２３年の食料品販売額は、※．※兆円となっており、前年に比べて※．※兆円（※．※％）☆☆しています。
＜出所：「平成２４年度食料・農業・農村白書」一部改編＞